

みずほCustomer Desk Report 2018/03/12号(As of 2018/03/09)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.74
TKY 9:00AM	106.43	1.2307	130.97	1.3803	0.7790
SYD-NY High	107.05	1.2334	131.89	1.3889	0.7854
SYD-NY Low	106.17	1.2273	130.89	1.3788	0.7778
NY 5:00 PM	106.82	1.2305	131.44	1.3844	0.7846
NY DOW	25,335.74	440.53	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,560.81	132.86	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,786.57	47.60	米国2年債	2.2600	1.22bp
日経平均	21,469.20	101.13	米国5年債	2.6511	2.36bp
TOPIX	1,715.48	5.53	米国10年債	2.8947	3.85bp
シゴ日経先物	21,760	100.00	独10年債	0.6425	1.55bp
ロンドンFT	7,224.51	21.27	英10年債	1.4920	1.95bp
DAX	12,346.68	▲8.89	豪10年債	2.7975	▲0.90bp
ハンセン指数	30,996.21	341.69	USDJPY 1M Vol	7.60	▲0.50%
上海総合	3,307.17	18.76	USDJPY 3M Vol	7.98	▲0.49%
NY金	1,324.00	2.30	USDJPY 6M Vol	8.28	▲0.38%
WTI	62.04	1.92	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	195.15	1.49	EURJPY 3M Vol	8.13	▲0.43%
ドルインデックス	90.09	▲0.09	EURJPY 6M Vol	8.58	▲0.30%

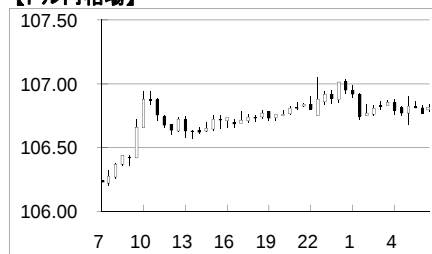
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月9日	10:15	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁「緩やかな利上げの継続が重要」		
	10:30	中 PPK(前年比)	2月 3.7%	3.8%
	10:30	中 GPK(前年比)	2月 2.9%	2.5%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化(前月比)	2月 313k	205k
	22:30	米 失業率	2月 4.1%	4.0%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.1%/2.6%	0.2%/2.8%
3月10日	2:40	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁「今年の利上げペース、3回より幾分加速が適切」		
	2:45	米 エバンズ・シカゴ連銀総裁「インフレ目標2%の枠組み維持が望ましい」		

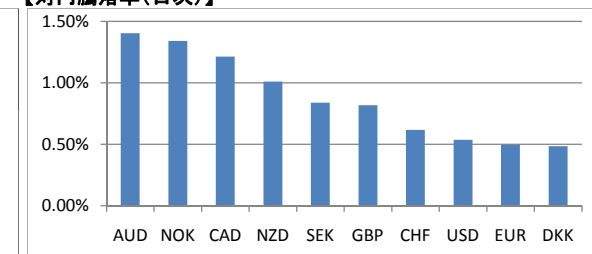
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月13日	3:00	米 財政収支	2月 -\$216.0b	-\$192.0b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-107.00	1.2250-1.2350	131.00-132.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日海外時間のドル円相場は上に行きつづけての展開となった。発表された米2月雇用統計は雇用者数の増加は予想を上回る良好な結果でドル円は上昇するも、平均時給は予想を下回り上値は限定的だった。本日は上値重い展開を予想。米国の平均時給の伸び悩みから市場は今年の利上げペースを更に織り込むには至らず、107円台で推移する時間も短かった印象だ。本邦では財務省が本日にも森友学園への国有地売却の決裁文書について書き換え疑惑を認めると報じられており、内容次第では安倍政権支持率低下の可能性が高い。リスクセンチメントが好転するとは考えにくく相場の重石となるだろう。

東京	トランプ大統領が8日に署名した鉄鋼・アルミ関税で同盟国への適用除外の余地が示され、ドル買い優勢となる中、東京時間のドル円は106.43レベルでオープン。オープン直後、トランプ米大統領が北朝鮮の金正恩委員長との会談に同意したとのHLを受け、米朝緊張緩和への期待が膨らみドル円は106.94まで上昇。その後、日経平均株価が上昇幅を縮小させる動きにドル円も106円台後半まで反落するも、同水準で底堅く推移し106.72レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.72レベルでオープン。貿易摩擦への懸念がやや後退した事を受け、106.85まで小幅に上昇し、106.84レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2320レベルでオープン。雇用統計前のドル買い優勢の動きに1.2291まで低下、1.2296レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	106.84レベルでNYオープン。朝方発表された米2月雇用統計は非農業部門雇用者数が前月比+31.3万人と市場予想を大幅に上回り、2016年7月以来の30万人を上回る大幅増となったことを好感し、発表直後に本日高値107.05まで上昇したが、平均賃金の上昇率が前月比・前年比共に市場予想を下回り、前月から伸びも減速したことが意識され、106.83まで失速。本日期日の107円のオプションが意識されたことや、高値寄りした米株が一段と上げ幅を拡大し、昨日3週間ぶりとなる水準まで下落したWTI原油も大幅に反発するなど、リスク回避姿勢が一段と後退する動きにドル円は11時にかけて再び107.04まで回復。しかし、オプションカットを過ぎると、米金利が低下する動きに連れて106.72まで下落。NY午後は来週の国債入札が意識され米金利が動意薄となり、為替市場も106円台後半でのレンジ推移に終始し、106.82レベルでクロス。なお、本日エバンズ・シカゴ連銀総裁(2018年投票権有)は、「持続的な2%インフレが近づいているようだ」としつつも「利上げまで少し長く待ちたい」と発言した。一方、1.2295レベルでオープンしたユーロドルは、2月雇用統計発表直後乱高下し、本日安値1.2273まで下落するも、米金利低下を横目に1.2334まで上昇。その後は1.23台前半で底堅く推移し、1.2305レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・田家